

船舶事故調査報告書

令和元年12月18日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年6月18日 19時43分ごろ
発生場所	愛媛県松山市クダコ島南西方沖（クダコ水道） クダコ島灯台から真方位209° 860m付近 （概位 北緯33° 57.8′ 東経132° 33.6′）
事故の概要	コンテナ船 <sup>ビクトリースター</sup> VICTORY STARは、西南西進中、暗岩（ホッコク岩）に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年7月18日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	コンテナ船 VICTORY STAR（大韓民国籍）、7,401トン
船舶番号、船舶所有者等	9172595（IMO番号）、Nam Sung Shipping Co.,LTD
乗組員等に関する情報	船長（大韓民国籍）、一級航海士免状（大韓民国発給） 航海士A（大韓民国籍）、二級航海士免状（大韓民国発給）
負傷者	なし
損傷	右舷船底外板に破口を伴う擦過傷、右舷ビルジキールに曲損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期、潮流 北北東約3ノット (kn) 日没時刻：19時24分ごろ 常用薄明終了時刻：19時53分ごろ
事故の経過	本船は、船長及び航海士Aほか13人（フィリピン共和国籍8人、大韓民国籍5人）が乗り組み、航海士Aが別の航海士と共に船橋当直に当たり、約9knの対地速力で南進中、クダコ島の南東方沖で右転して西南西進していたところ、ホッコク岩に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首約4.65m、船尾約5.83mであった。 航海士Aは、ホッコク岩の存在を知らなかった。
分析	本船は、航海士Aが、ホッコク岩の存在を知らずにクダコ水道を南進中、クダコ島の南東方沖で右転し、同岩に向かう針路で航行したことから、同岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、日没後の薄明時、航海士Aが、ホッコク岩の存在を知らずにクダコ水道を南進中、クダコ島の南東方沖で右転し、同岩に向かう針路で航行したため、本船が同岩に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・狭水道を航行する際は、事前に水路調査を十分に行うこと。